

## 【東京都】胃がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（50歳以上：隔年）	
検査方法（胃部X線または内視鏡検査）	

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	3,301,501	3,586,194	6,887,695
<b>【東京都調査による対象者率（東京都）：57.5%】</b>			
実際の受診者数	113,030	152,287	265,317

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
左記以外の検査の実施	

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	
個別に受診勧奨	
過去5年間の受診歴を記録	
精検未受診者への精検受診勧奨	

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.9%	7.4%	6.7%
要精検率	11%以下	11.4%	8.3%	9.6%
精検受診率	70%以上	71.6%	74.5%	73.0%
精検未把握率	10%以下	24.8%	22.9%	23.9%
精検未受診率	20%以下	3.5%	2.6%	3.1%
陽性反応適中度	1.0%以上	1.8%	0.6%	1.2%
がん発見率	0.11%以上	0.20%	0.05%	0.12%

\* 足立区・町田市・利島村・神津島村・青ヶ島村・小笠原村は胃部X線検査の実施がないため集計には含まない。

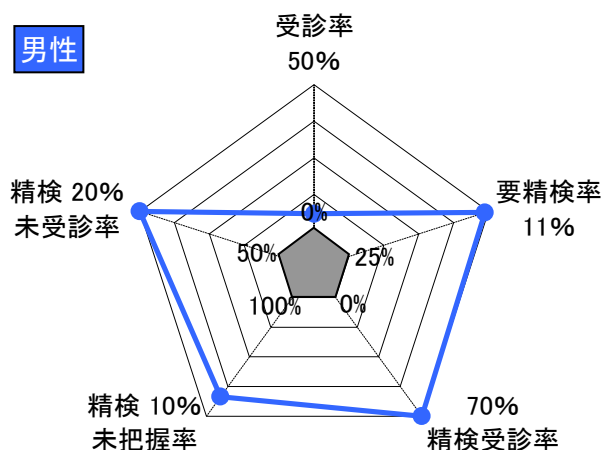
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

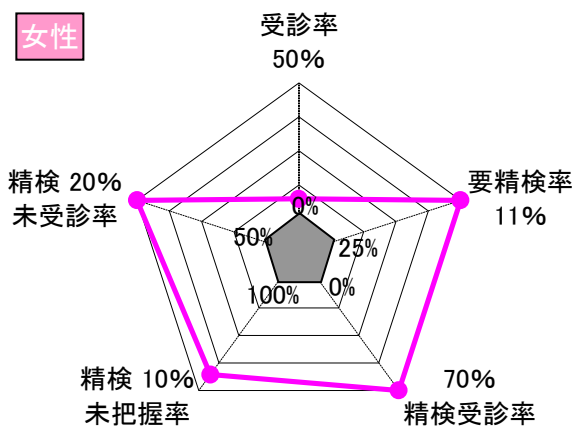
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況><区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成28年度の状況である

## 【東京都】肺がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	3,238,899	3,504,774	6,743,673
<b>【東京都調査による対象者率(東京都): 64.8%】</b>			
実際の受診者数	179,453	253,132	432,585

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
左記以外の検査の実施	

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	
個別に受診勧奨	
過去5年間の受診歴を記録	
精検未受診者への精検受診勧奨	

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	8.5%	11.1%	9.9%
要精検率	3%以下	2.8%	2.0%	2.3%
精検受診率	70%以上	69.0%	71.4%	70.2%
精検未把握率	10%以下	27.8%	26.3%	27.0%
精検未受診率	20%以下	3.2%	2.3%	2.8%
陽性反応適中度	1.3%以上	3.1%	1.6%	2.4%
がん発見率	0.03%以上	0.09%	0.03%	0.05%

\* 文京区、中野区、北区、町田市は未実施のため集計には含まない。  
\* 稲城市(胸部CT検査)、日の出町・大島町(胸部X線のみ)は集計に含まない。  
\* 豊島区は「胸部XP+CT+喀痰細胞診」を実施のため、利島村は要精検者数未把握のため、要精検率以降の集計からは除いている。

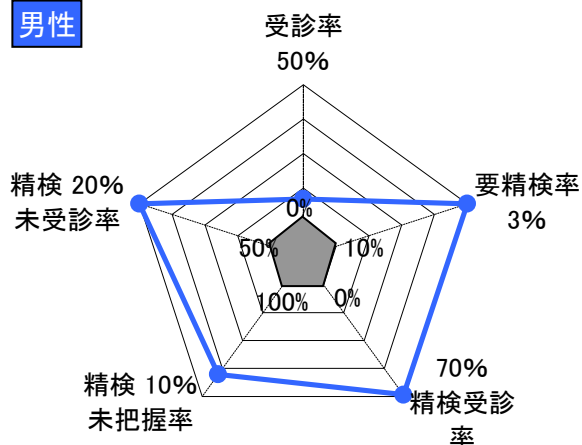
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

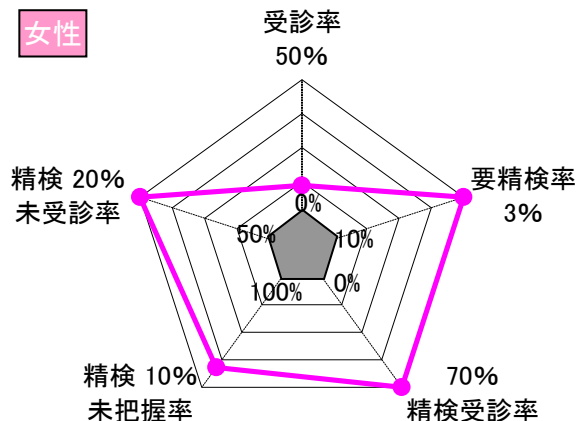
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

## 【東京都】大腸がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	
検査方法（便潜血検査（二日法））	

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	3,618,086	3,920,867	7,538,953
<b>【東京都調査による対象者率（東京都）：61.3%】</b>			
実際の受診者数	417,229	671,869	1,089,098

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
左記以外の検査の実施	

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	
個別に受診勧奨	
過去5年間の受診歴を記録	
精検未受診者への精検受診勧奨	

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	18.8%	27.9%	23.5%
要精検率	7%以下	10.1%	7.1%	8.2%
精検受診率	70%以上	56.0%	57.4%	56.8%
精検未把握率	10%以下	32.8%	32.1%	32.4%
精検未受診率	20%以下	11.2%	10.5%	10.8%
陽性反応適中度	1.9%以上	3.6%	2.7%	3.1%
がん発見率	0.13%以上	0.36%	0.19%	0.26%

\* 利島村は要精検者数未把握のため、要精検率以降の集計からは除いている。

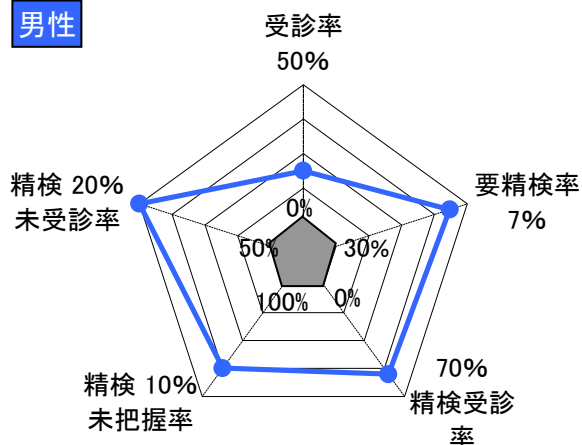
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

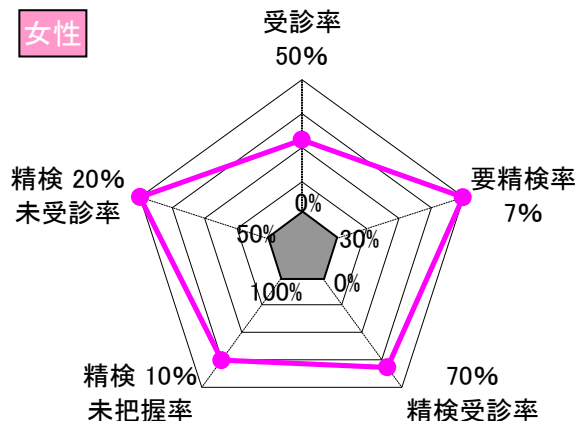
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【東京都】子宮頸がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	
検査方法（細胞診）	

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		5,738,882	
<b>【東京都調査による対象者率(東京都)：64.2%】</b>			
実際の受診者数		402,265	

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
左記以外の検査の実施	

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	
個別に受診勧奨	
過去5年間の受診歴を記録	
精検未受診者への精検受診勧奨	

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		21.1%	
要精検率	1.4%以下		2.5%	
精検受診率	70%以上		65.8%	
精検未把握率	10%以下		31.0%	
精検未受診率	20%以下		3.2%	
陽性反応適中度	4.0%以上		1.2%	
がん発見率	0.05%以上		0.03%	

\* 利島村は毎年実施かつ2年連続受診者数未把握のため、受診率の集計から前年度受診者数を除いている。  
\* 御蔵島村、小笠原村は「細胞診+コルポスコプ等」を実施しているため、利島村は要精検者数未把握のため、要精検率以降の集計からは除いている。

プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

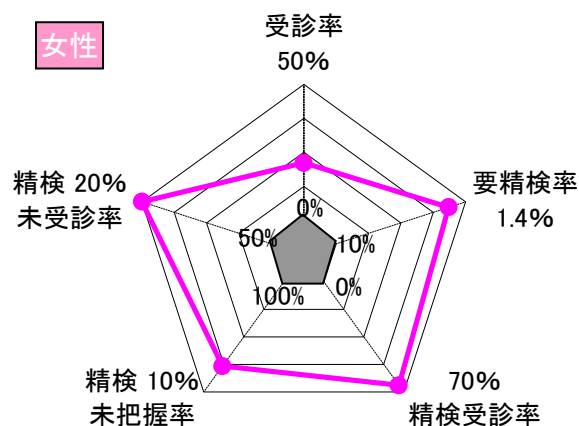
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。



## 【東京都】乳がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	
検査方法（マンモグラフィ）	

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		3,732,417	
<b>【東京都調査による対象者率(東京都)：65.5%】</b>			
実際の受診者数		275,061	

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
左記以外の検査の実施	

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	
個別に受診勧奨	
過去5年間の受診歴を記録	
精検未受診者への精検受診勧奨	

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		21.5%	
要精検率	11%以下		9.3%	
精検受診率	80%以上		82.1%	
精検未把握率	10%以下		16.1%	
精検未受診率	10%以下		1.8%	
陽性反応適中度	2.5%以上		4.0%	
がん発見率	0.23%以上		0.37%	

\* 江戸川区、利島村、三宅村、御蔵島村、青ヶ島村は「視触診+マンモ」の実施がないため、集計からは除いている。  
\* 品川区は「視触診+マンモ+エコー」を実施しているため、要精検率以降の集計からは除いている。

プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

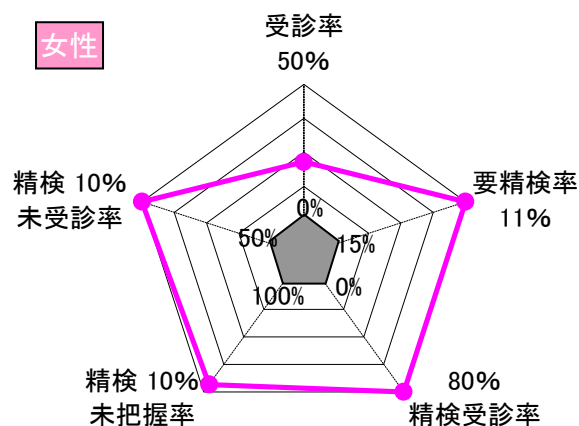
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。



#### <精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。